**第２１回観察会　2004年12月20日(月) 12:15～12:55　晴れ**

**テーマ『ロシアからやって来た小鳥を探そう』**

**☆ガイドレポート**

私が集合時間より少し前に植物園に到着した時、植物園内のメタセコイアにイカルという鳥がとまって、そのでっかくて真っ黄色の嘴を披露していました。この植物園を象徴する鳥のひとつなので、ぜひ参加者の皆さんにも見ていただきたかったのですが、残念ながら早めに来園していた一部の人だけが、望遠鏡でその姿を見ることができただけでした。

観察会開始の時間が近づき、参加者が集まりはじめましたが、時間と共にどんどんと人数が増えだし、結果的には、主催者側が予想したよりもかなり多くの参加者が集まりました。

京大植物園には、この時期、ロシアや中国、北海道などの北方から渡来したと思われる多くの冬鳥が生活していますので、観察会のお題は「ロシアからやって来た小鳥を探そう」としました。そんな冬鳥の代表として植物園にも生息しているジョウビタキを選んで雄雌それぞれのカラー写真を印刷したカードを参加者に配ったうえで、鳴き声を小型のスピーカーを用いて再生して聞いてもらいました。

双眼鏡の使い方を説明したあと、「では、ジョウビタキを捜してみましょう」ということで歩き出すとすぐにエナガという小鳥の集団に出会いました。尾が長いので「柄長」と言う名がついた白・黒・ピンクの羽色を持つカワイイ鳥です。落葉して見通しの良くなった木の枝先に逆さまにぶらさがったりしながら活発に餌を探している姿を観察することができました。エナガのジュリ、ジュリという声を聞きながら「あの声は、銀の粒を手の中に握って擦りあわせた時の音と似ているらしいですよ。」などと説明をしていると、ギィーっという鳴き声がして、コゲラという名の茶色と白の縞模様のある小さなキツツキがやってきました。あまり人を恐れることもなく、あちこちの木をトットッと登ってはつつき、つついては登りして、参加者の目を楽しませてくれました。コゲラを見ながら、この鳥が太めの枯れ枝に巣穴を掘るので、そんな枝がある場所に好んで暮らしていること、しかし、枯枝は落下して歩行者に当たると危ないので公園などでは切り取って撤去してしまう例が多いこと、撤去されてしまうと巣をつくる場所がなくなってしまうことなどお話ししました。コゲラの住宅と人の安全、両方を満たす方法も探せばきっと見つかることでしょう。その他にもシジュウカラやヤマガラ、キジバトやツグミ、ハシブトガラス、ヒヨドリなどを観察することができましたが、私と一緒に先頭を歩いていた人たちと後ろの方を歩いていた人たちでは観察できた鳥の種類も違ったかもしれません。

途中、植物園の真ん中あたりで立ち止まり、目を閉じて鳥の声をじっくり聞いてもらいました。こうするとそれまで聞こえなかった鳥たちの声がたくさん聞こえてきます。自分の足音や隣の人と話していた声、説明してる私の声などによってかき消されていた音がスウーっと耳に入って来るからです。意外に多くの鳥の声が聞こえるのに気づくと同時に、鳥の声以外にもいろんな音に気づくことができます。木や水や風など自然が出す音に加え、車の音や工事用機械の音など人が出す音がたくさん聞こえてきます。さらに「聴野」を広げれば、鳥が葉っぱをかき分けて餌を探す音、草の実を食べる音、コゲラが木をつつく音なども聞こえてきます。参加してくれた人達は、いったいいくつの音を聞くことができたでしょうか？

さて、結局、目指すジョウビタキを発見することはできず、残念な結果となりましたが、なにしろ野生の生き物ですから、こちらの思うとおりにいかないものです。見ることができなければ、それはそれでとても印象に残るもの。「残念ながら見られなかったけれど、一度実物を見てみたいなぁ」と思ってさえいただければ、じゅうぶんだと私は思っています。最後にもう一度、ジョウビタキの鳴き声をスピーカーで聞いてもらって解散としました。きっと解散後、参加者のうち何人かは、どこかでジョウビタキを見つけたことでしょう。今はまだ、見ることのできていない人も写真で見た姿や声を覚えてさえいれば、きっとどこかで出会うことができるでしょう。その時にこの観察会を思い出し、「遠くから渡ってきたんだな」と想っていただければ幸いです。

ガイド：梶田学さん（理学部動物学科）

**☆参加者の感想**

参加者の感想文です。実名・匿名の指定がないかたはすべて匿名にいたしました。ご了承ください。

* 久しぶりにたのしみました。又よろしく。　　　　　　　　　　　（記入無し）
* 野性的な植物園で、いろいろな鳥が見れて感激です。　　　　　　（記入無し）
* 折角遠いロシアから来てくれてるのに中々見つけられなくて、キジバト・カラス・ヒヨドリ・コゲラが見られました。ありがとう。　　　（記入無し）
* お目当ての鳥は見られなかったが、鳥のことはよく知らないのでよかった。双眼鏡の使い方をていねいに教えて頂けてありがたかった。コゲラはかわいいと思った。　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 紅葉の残る植物園で、エナガ・コゲラ、そして尾池総長を観察できた僕は幸せ者です。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（文学部２回生　荒木勇輝さん）
* この様な観察会たびたびお願いします。　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* まったく知らなかったので、おもしろかった。鳥のことも少しずつ知っていきたいとおもった。　　　　　　　　　　　　　　　　　（記入無し）
* コゲラがみれてうれしかった。鳥をみるのはタイミングが大事ですね。また鳥みたいです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 鳥を双眼鏡がとらえるむずかしさを知りました。　　　　　　　　（記入無し）
* 双眼鏡所持せず残念でした。次回必ず持参します。　　　　　　　（記入無し）
* 非常に楽しく、タメになりました。時折、近くの山へ双眼鏡を持ってゆくのですが名前が分からず、不満でした。今日のように専門の方に教えていただければおおいに助かります。年に数回の開催を希望します。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（地球研　宮島敏明さん）
* コゲラがま近に見え、感激！たくさんいますね、こんな町なかにも。学外のかた
* 今回は野鳥かんさつ。コゲラ・エナガがみられた。1人でみようとするとなかなかみられないけれど、ガイドのひとがいると、すぐみられた。とてもよい気分。　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 鳥の観察をこれから始めたいと思う様になりました。　　　　　　（近所のかた）
* It was my first time to participate such an activity. It was so interesting. Thank you so much.　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（動物学教室　バツャクオゼルさん & Ismail OZERさん）
* 冬鳥は見れませんでしたが、楽しく参加できました。　　　　　　　　　（近所のかた）
* 野鳥観察も楽しいです。もちろん植物も。野鳥観察会にはよく参加しますが、違った視点から話していただけたので、できるだけたくさんの指導者に接するとおもしろいとわかりました。小さな体で遠方から来るのには感動ですね。鳥インフルエンザとの関連はどうなのでしょうか。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 目をとじると鳥の声がたくさんきこえてくるというのが感動でした。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（農学部４回生　坂本三和）
* 近くにある植物園の楽しみ方を１つ知りました。また来て観察したいと思いました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学内のかた）
* とてもたのしかった。もっとゆっくり見ていたかったが、じかんが決まっているのでしょうがないですね・・・こんな大勢で入っていったので心配したが、たくさん集まったエナガを見ることができた。また朝に来てみたい。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学内のかた）